

MINICON FOR DIESEL ENGINE

FILLING UP FOR RESPONSE RING

この度は弊社製品<MINICON DIESEL>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。MINICON DIESELは弊社レスポンスリング装着車の効果を最大限に発
為に開発された小型サブコンです。必ずレスポンスリングと組み合わせて使用して下さい。

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- 本製品は圧力センサー信号制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす 場合が考えら
ますので十分慎重に取り扱い下さい。なお何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えませんのでご了承下さい。

注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

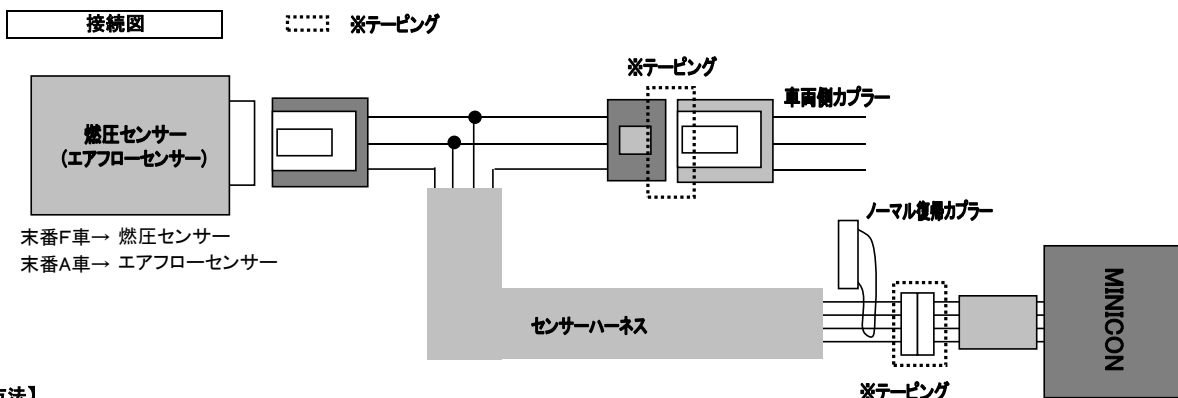
- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落下させたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。
- 電子制御に関わる部分です。接続位置、接触不良が無いように慎重に作業をおこなって下さい。
- 配線を這わす時には可動部分は避けて取り付けして下さい。巻き込まれたり引っ張られたりしてハーネスが断線しないように注意して下さい。

【MINICONの機能と特徴】

- レスポンスリングの性能を最大限に引き出します。
- MINICONの独自回路により、ECUへのアクセス状態を変化させ、エンジンレスポンス、フィーリングの向上が可能です。
- 車両のセンサーへ簡単に装着できます。
- 本体横のスイッチを切り替えることにより、3つのモードを楽しめます。

【MINICONの取り付け作業の注意】

- 取り付け作業はエンジンキーを抜いてから約1分間以上経過してからおこなって下さい。
→完全に車両電源がシャットダウンしないうちに作業をおこなった場合、エンジンチェックが点灯してしまいます。
- 取り付け作業はバッテリーをはずさずにおこなって下さい。
→ECUの学習がリセットされ、エンジン不調他の症状が発生する可能性があります。
- 本体の取り付けは高温、水のかかりやすい場所を避け、取り付け向きに注意して固定して下さい。



【取り付け方法】

- ①レスポンスリングを装着して下さい。
装着方法は別紙を選択して下さい。
- ②センサーハーネスの取り付け
下記車種別資料を参考に圧力(燃圧)センサーへMINICONのセンサーハーネスを割り込み接続させます。

R2F トヨタハイエース 2型~4型 ★燃圧センサーへ接続 ★必ずレスポンスリングRT16CSと併用して下さい。
★センサーがシート下の為、延長ハーネス(別売)の使用を推奨致します。



- 助手席のシートを上げ、エンジンルームにて作業が出来るよう用意して下さい。
- エンジンルーム内の圧力センサーを確認して下さい。
* 6極カブラー左画像参照
燃料パイプの後方(荷台より)にある黒い6極(3極2段)のカブラーです。
- カブラーを抜き、センサーハーネスを割り込み接続して下さい。
- ハーネスを車内に引き込んで下さい。この時にハーネスがエンジンカバーに挟まれますが、ハーネスにダメージが無いように処理して下さい。

R3F ニッサンキャラバン NV350 ★燃圧センサーへ接続 ★必ずレスポンスリングRN09CSと併用して下さい。
★センサーがシート下の為、延長ハーネス(別売)の使用を推奨致します。



- 助手席のシートを上げ、エンジンルームにて作業が出来るよう用意して下さい。
- 運転席側のシートをはずして下さい(φ 14mmネジ×4本ははずす)
- マットをめくり、スチール製のエンジンフードカバーをはずして下さい(φ 12mmネジ×9本ははずすと脱着できます)
- エンジンルーム内の圧力センサーを確認して下さい。
* 3極カブラー左画像参照
- カブラーを抜き、センサーハーネスを割り込み接続して下さい。
- ハーネスを車内に引き込んで下さい。この時にハーネスがエンジンカバーに挟まれますが、ハーネスにダメージが無いように処理して下さい。

R4F

ミツビシ デリカD5 ★燃圧センサーへ接続 ★必ずレスポンスリングRM06CSと併用して下さい。



- エンジンルーム内の燃圧センサーを確認して下さい。
* 3極黒色カプラー左画像参照
- カプラーを抜き、センサーハーネスを割り込み接続して下さい。
- ハーネスの長さが不足する場合は別売の延長ハーネスをご使用下さい。
- 本体は付属の簡易防水キャップを被せて使用して下さい。

R5F

マツダCX5 KE系, アテンザ, アクセラ ★燃圧センサーへ接続 ★必ずレスポンスリングRZ04CSと併用して下さい。



- エンジンルーム内の燃圧センサーを確認して下さい。
* 3極カプラー左画像参照
- カプラーを抜き、センサーハーネスを割り込み接続して下さい。
- マツダディーゼル車のエンジンルーム内は、かなりの高温になります。ハーネスの引き回しを考慮し作業をおこなって下さい。
- ハーネスの長さが不足する場合は別売の延長ハーネスをご使用下さい。
- 本体は付属の簡易防水キャップを被せて使用して下さい。

R6A
R7A

マツダCX3, デミオ ★エアフローセンサーへ接続 ★必ずレスポンスリングRZ05CSと併用して下さい。
マツダCX5 KF系 ★エアフローセンサーへ接続 ★必ずレスポンスリングRZ04CSと併用して下さい。



- エンジンルーム内のエアフローセンサーを確認して下さい。
* 5極カプラー左画像参照
- カプラーを抜き、センサーハーネスを割り込み接続して下さい。
- マツダディーゼル車のエンジンルーム内は、かなりの高温になります。ハーネスの引き回しを考慮し作業をおこなって下さい。
- ハーネスの長さが不足する場合は別売の延長ハーネスをご使用下さい。
- 本体は付属の簡易防水キャップを被せて使用して下さい。

⚠重要 センサーハーネスはエンジンルーム内で使用する為、長期間使用された場合ハーネスが劣化し接触不良を起こす可能性があります。～1年半程度にて交換することを推奨致します。

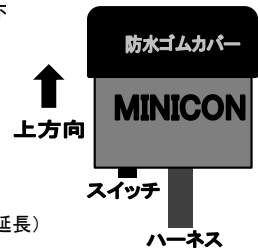
③本体への装着、固定

- センサーハーネスの4極カプラーにMINICONの4極カプラーを確実に挿入させ、ビニールテープにてテーピングして下さい
* 4極カプラーは非防水の為

- MINICON本体を両面テープにより確実に固定して下さい。

- ⚠注意 * 本体をエンジンルームに固定する場合は、熱、水の影響の受けにくい場所を選んで固定させて下さい。
* エキゾースト付近や、直接エンジン上に固定するのは絶対に避けて下さい。
* 配線はファンベルト等に干渉しないようにし、点火系、インジェクター系、アンプ系、HID等のノイズが発生しやすい配線の近くは絶対に避けて下さい。誤作動する危険があります。
* 本体をエンジンルームに固定する場合は、本体に付属のゴムカバーを被せて下さい。

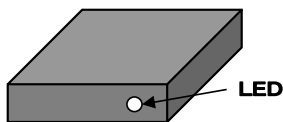
- ⚠注意 ●センサーハーネスが短い場合は、別売の延長ハーネスを使用して下さい。(DCMX-E12、¥2,000 *約1.2m延長)



【作動確認方法】

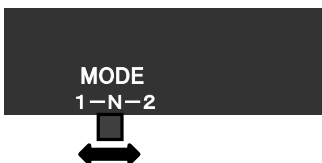
確認作業は安全な場所でおこなって下さい。

本体が正常に働いているかMINICON本体横のLEDの状態とエンジンの吹け上がりにて確認して下さい。



- ①イグニッションキーをONにするとLEDが点灯します。
- ②エンジンを始動させて下さい。
- ③エンジンチェックランプ等の警告灯が点灯せず、エンジンが正常に吹け上がればOKです。

【設定方法】



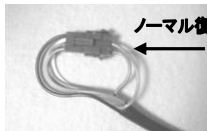
- MINICONは本体横の切り替えスイッチにより下記の3モードの設定が出来ます。走行条件等を考慮し、最適なモードに設定して下さい。
- 走行フィーリング、燃費を考慮してモードを決定して下さい。
* ディーゼルエンジンの特性上、高回転域のフィーリングは期待できませんのでご了承下さい。

MODE	内容	
1	燃料値リッチ(濃)のセッティングです。 ●トルクUPをねらったセッティング内容です。	スポーツ走行
N	ノーマルセッティングです。 ●車両仕様、走行状況によっては他モードより有効な場合があります。	-
2	燃料値リーン(1より薄)のセッティングです。*ノーマルより濃 ●燃費とトルクUPの両立をねらったセッティング内容です。	通常走行

- ⚠注意 ●ディーゼル車用のMINICONはノーマルより濃いセッティングをおこなってます。触媒、燃料ポンプの負担が大きい時はモード2もしくはNにて使用して下さい。
- ノーマルモードに比べ、DPFの再生回数が異常に多い? マフラーのススが異常に多い?等の症状より自己判断にてお願い致します。

【ノーマル復帰方法】

- 万が一、エンジン不調等の症状やエンジンチェックランプが点灯する場合は、下記の要領にてノーマル状態へ戻して走行して下さい。



ノーマル復帰カプラー

- センサーハーネスの4極カプラーより、MINICONの4極カプラーを抜き、センサーハーネス側へノーマル復帰カプラーを差しなおして下さい。

ノーマル復帰しても不調の状態が直らない時は？

- センサーハーネスをセンサーより抜き、完全にノーマル状態に戻して下さい。
- 完全にノーマル状態にしても直らない場合、MINICONの制御とは関係の無い部分の原因が考えられます。

【トラブルチェック】

警告 走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジンを停止し1～2分後にMINICONをノーマル状態にして再始動させて下さい。

<アイドルリング不調>

- ハーネスの挿入方向、接触等を再確認して下さい。
- 取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまうとアイドルリング学習が必要です。カーディーラー等にて確認して下さい。

<エンジンチェックランプ点灯、吹けあがらない>

- ハーネスの挿入方向、接触を再確認して下さい。

<点灯したチェックランプを消す方法>

- 正常な状態で、<エンジン始動>⇔<1分間エンジン停止>を3～5回繰り返して下さい。ECUが正常と判断し、エンジンチェックが消えます。
- 何度やってもエンジンチェックが消灯しない時は、カーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。
* マツダディーゼル車はOBDテスターを使用しないとエンジンチェックランプは消去出来ません。